

総合学科について

総合学科設置の背景

- 当時（H2年）の高校の現状
 - ・学校歴優先意識や偏差値偏重の受験戦争
 - ・高校教育≒大学進学準備という状況
 - ・高校中退者の増加
- 当時の高校の問題点
 - 普通科では画一的に進学を意識するため生徒の多様な能力・適性に十分対応できず、職業科では就職する者を主体とした教育が行われているため進学希望者への対応が不十分である。
- 求められた変革
 - ア 量的拡大から質的拡大へ
 - イ 形式的平等から実質的平等へ
 - ウ 偏差値偏重から個性尊重・人間性重視へ
- 変革の道筋
 - これまでの普通科と専門学科の2学科の区分を見直し、生徒の学習の選択幅を拡大することができるよう、普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科を設置すべきとした。
- どこで提言されたか
 - 平成3年4月、第14期中央教育審議会答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」

設置の経緯

- 提言を受けてから設置への経緯
 - ・平成3年6月 高等学校教育の改革の推進に関する会議 第一次報告
総合学科という名称、意義などを報告
 - ・平成5年2月 高等学校教育の改革の推進に関する会議 第四次報告
総合学科の具体像を報告
 - ・平成5年3月10日 高等学校設置基準 一部改正
『普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科』＝総合学科（第5条第3号）
- 全国での設置
 - 平成6年4月 全国で7校の総合学科が開設（筑波大学附属坂戸高等学校ほか）
 - 平成9年4月 岐阜県で4校の総合学科が開設
 - 平成23年度 322校 生徒数173,794人
 - 平成24年度 327校 生徒数174,562人（5.2%）

【参考】全国総合学科高等学校長協会 HP

総合学科の特徴とは

(1)原則履修科目「産業社会と人間」という授業があります

自己の個性を発見したり、将来の生き方や進路を考える学習を進めます。

(※異なる名称で設置している高校もあります)

(2)単位制です

生徒が主体的に科目選択ができるよう、学年による教育課程の区分を設けていません。

(※原則としています) 学年制ではないので「年次」と言います

(3)多様な教科・科目から主体的に選択履修できます

「産業社会と人間」及び専門教育に関する各教科・科目を合わせて25単位以上開設しています。生徒が普通教育及び専門教育に関する多様な各教科・科目から主体的に選択履修できるようにしています。

(4)課題の設定・研究

「課題研究」「総合的な学習の時間」において、生徒が興味・関心、進路等に応じて設定した課題について、知識や技能の深化、総合化を図る学習活動を取り入れています。

岐阜県の総合学科設置校

1997(平成9)年度

岐阜総合学園(岐阜西工業+岐阜第一女子)、郡上(郡上)、土岐紅陵(旧土岐高)、飛騨神岡(船津+神岡工業)

2004(平成16)年度

岐阜城北(岐阜三田+岐阜藍川)

2005(平成17)年度

大垣養老(大垣農業+養老女子商業)、益田清風(益田+益田南)

2007(平成19)年度

恵那南(明智商業+岩村)

の計8校

※太文字は総合学科単独校

総合学科の今後の在り方

- 1 多様で魅力ある科目開設の推進
- 2 生徒一人一人に対応した進路学習やキャリア・カウンセリングの充実
- 3 きめ細かい生徒指導や学校への適応指導の充実
- 4 入学者選抜の工夫改善
- 5 大学における入学者選抜の改善
- 6 地域や産業界とのパートナーシップの確立
- 7 総合学科に対する理解促進
- 8 国や設置者による支援

総合学科 (単位制)

中学校卒業時に将来の進路について、明確な見通しを持たず、高等学校において自己の学習や活動を通して自己の能力や適性を見いだしていくとする

幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習の提供をする。
 ・将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視する。

学力を知識や技能の量
 →
 ・知識、技能を支える能力や関心・意欲・態度の全体
 ・生徒が自ら考え主体的に判断し行動するために必要な資質や能力

産業社会と人間

自己をしっかりと見つけ、自分の進路について深く考える
 → ライフプランの作成

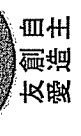
科目選択

自分の進路に合わせて、普通科目を学ぶことも専門科目を学ぶこともできる
 → 主体性 自己責任

課題研究 総合的な学習の時間

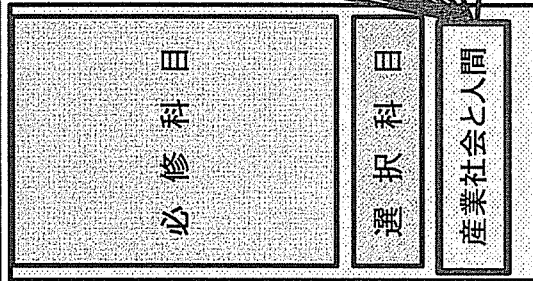
課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をばぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養う
 → 主体的な学習の構築

生涯学習

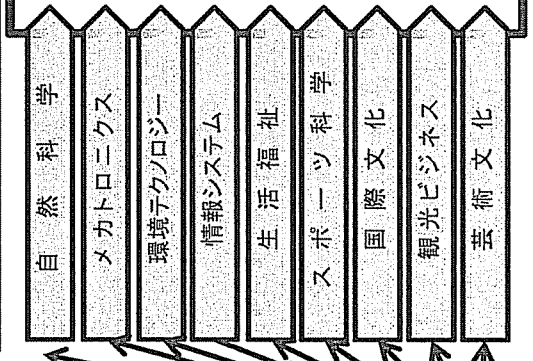


友創自愛
青森総合学園高等学校

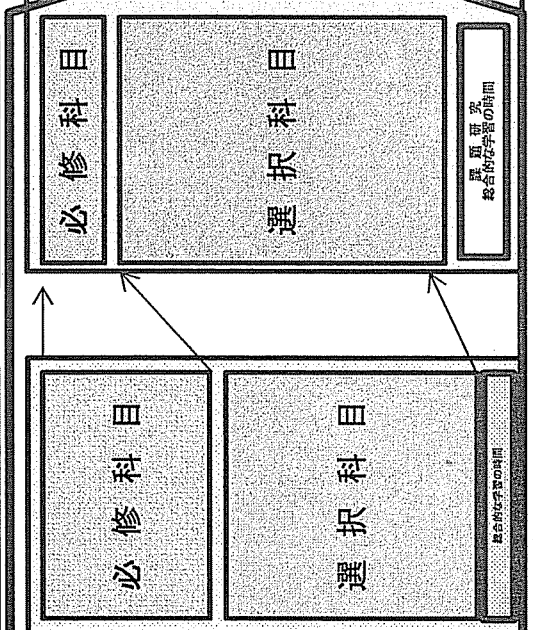
1年次



2年次



3年次



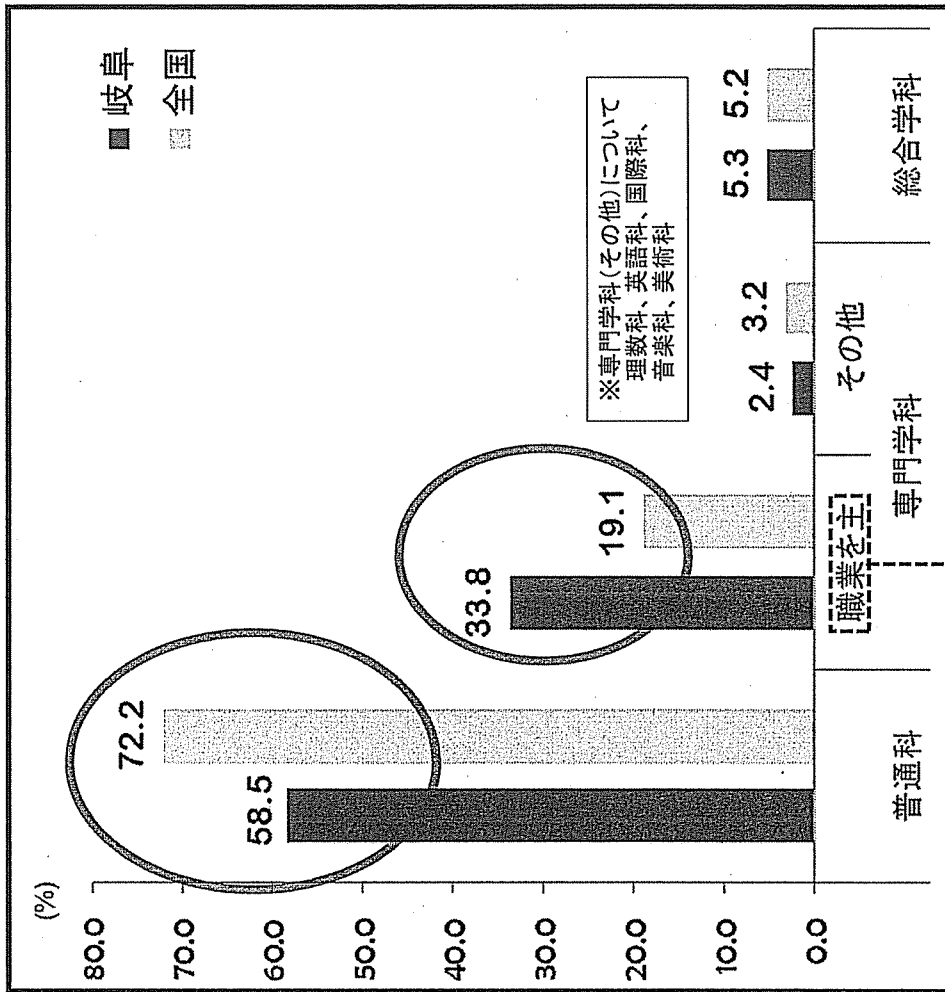
進路実現

「測定しやすい力」
 +
 「測定しにくい力」
 (思考力、判断力、表現力)

○学科別在籍者数では、全国に比して普通科の割合が高く、専門学科(職業を主とする学科)の割合が低い

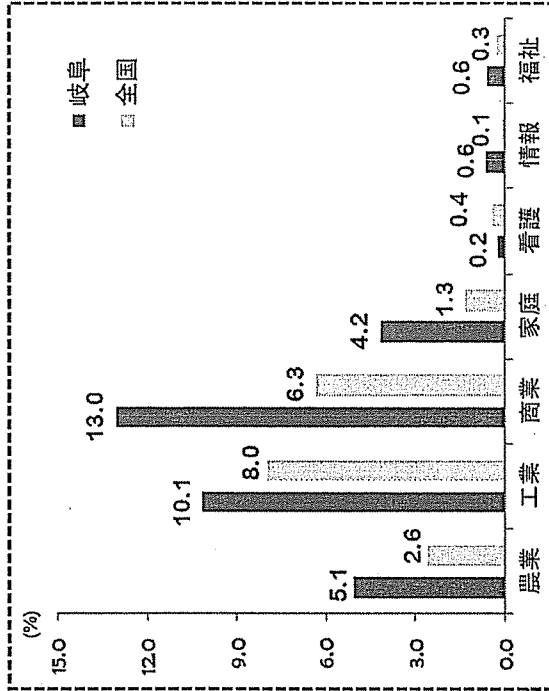
○専門学科(職業を主とする学科)では、全国に比して農業、工業、商業、家庭の割合が特に高い

◆ 学科別在籍者数(第1学年) < H24. 5. 1現在 | 公立・私立 | 全日制・定時制 >



(参考)公立高校の入学定員における普通科・理数科・英語科の占める割合について(富山県教育委員会調べ)

割合の高い10都道府県		割合の低い10県	
1 京都	85.8 %	1 宮崎	50.0 %
2 千葉	85.3 %	2 高知	51.3 %
3 奈良	80.6 %	3 佐賀	52.1 %
4 神奈川	80.3 %	4 鹿児島	52.1 %
5 大阪	77.9 %	5 岡山	54.6 %
6 埼玉	77.3 %	6 岐阜	55.9 %
7 東京	77.3 %	7 長崎	56.1 %
8 兵庫	73.0 %	8 山口	56.6 %
9 北海道	71.6 %	9 鳥取	56.6 %
10 滋賀	71.0 %	10 山形	56.8 %



< 学校基本調査(H24.5.1現在)より >

岐阜県の公立高校(全日制)に設置されている専門学科

1 普通科系の専門学科

理数科

自然科学と数学に深い興味をもち、その学習をより深めたいと希望する生徒に対して科学的、数学的な能力を高めるとともに、科学技術教育の振興を図る。

英語科

英語教育の充実と振興、国際理解教育等の振興のために、先進的な役割を担う。

芸術科(音楽)

音楽に関する専門的な学習を通して、創造的な表現に必要な知識や技術を習得させるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽文化の発展に寄与する態度を育てる。

芸術科(美術)

美術に関する専門的な学習を通して、発想・構想する力や創造的な技能、知識を習得させるとともに、豊かな感性と美術文化に寄与する態度を育てる。

() 内は平成25年度入学者選抜の募集定員

学区		理数系分野	外国語系分野	芸術科系分野
岐阜(240)	岐山(80)	理数(80)		
	加納(80)			音楽(40) 美術(40)
	各務原(80)	理数(40)	英語(40)	
西濃(40)	大垣東(40)	理数(40)		
美濃(40)	関有知(40)	理数(40)		
可茂(40)	加茂(40)	理数(40)		
東濃(80)	恵那(80)	理数(80)		
飛騨(40)	吉城(40)	理数(40)		
計(1120)	(480)	(360)	(40)	(80)

2 職業系の専門学科

農業科

農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割について理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

(※は H26 年度募集での学科名)

学区	学習分野	生産系分野	加工系分野	流通系分野	環境系分野
	主な学習内容	動植物の栽培・飼育に関する分野	食品加工やバイオテクノロジーに関する分野	農産物の流通やサービスに関する分野	環境の保全や創造に関する分野
岐阜(280)	岐阜農林(280)	園芸科学(40) 動物科学(40)	食品科学(40) 生物工学(40)	流通科学(40)	森林科学(40) 環境科学(40)
西濃(120)	大垣養老(120)	生産科学(40)	食品科学(40)		環境園芸(40)
美濃(80)	郡上(80)			食品流通(40)	森林科学(40)
可茂(200)	加茂農林(200)	生産科学(40)	※食品科学(40)	※園芸流通(40)	※森林科学(40) ※競テデザイン(40)
東濃(160)	恵那農業(160)	園芸科学(40)	食品科学(40)	園芸デザイン(40)	環境科学(40)
飛騨(120)	飛騨高山(120)	生物生産(40) 園芸科学(40)			環境科学科(40)
計	(960)	(280)	(200)	(160)	(320)

工業科

工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

(※は H26 度募集での学科名)

学区	主な学習分野	機械分野	電気・通信分野		地域産業分野			建築・土木分野	
		機械・器具の設計・製作、生産設備のシステム化、自動車等	電気分野 電気機器、電気エネルギー等	電子回路、情報通信システム等	化学分野 化学製品、化学プラント等	デザイン分野 工業製品デザイン、広告デザイン等	その他の分野 空調・衛生設備、家具、インテリアエレクトロニクス	建築分野 住宅、ビル等の建築物	土木分野 ダム、土木施設、都市計画
岐阜 (640)	岐南工 (280)	機械 (80) 自動車 (40)	電気 (40)	電子 (40)				建築 (40)	土木 (40)
	岐阜工 (360)	機械 (80) 電子機械 (40)	電気 (40)	電子 (40)	化学技術 (40)	デザイン工学 (40)	設備システム (40)	建設工学 (40)	
西濃 (320)	大垣工 (320)	機械 (80) 電子機械 (40)	電気 (40)	電子 (40) 情報技術 (40)	化学技術 (40)			建設工学 (40)	
美濃 (160)	関商工 (160)	機械 (80) 電子機械 (40)						建設工学 (40)	
可茂 (200)	可児工 (200)	機械 (80)	電気システム (40)		※化学技術 (40)			建設工学 (40)	
東濃 (360)	多治見工 (200)	電子機械 (80)	電気システム (40)			デザイン (40)	セラミック (40)		
	中津川工 (160)	機械 (40) 電子機械 (40)	電気 (40)					建設工学 (40)	
飛騨 (160)	高山工 (160)	機械 (40) 電子機械 (40)	電気 (40)				建築インテリア インテリア (20) 建築 (20)		
計	(1840)	(800)	(440)		(300)			(300)	

商業科

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

学区	主な学習分野	ビジネス系分野	流通系分野	会計系分野	経営情報系分野
		ビジネスの創造、国際交流、サービス、観光等 (経済・法律)	商品の流通、マーケティング、消費等	簿記会計、管理会計、会計の情報化等	ビジネス情報、情報の表現等
	学習指導要領	ビジネス経済	マーケティング	会計	ビジネス情報
岐阜 (720)	県岐阜商 (400)	国際コミュニケーション科 (40)	流通ビジネス科 (160)	会計システム科 (80)	情報処理科 (120)
	岐各務野 (160)	ビジネス科 (160)			
	市岐阜商 (160)	経営管理科 (120)			情報処理科 (40)
西濃 (280)	大垣商業 (240)	総合ビジネス科 (160)		会計科 (80)	
	海津明誠 (40)				情報処理科 (40)
美濃 (240)	武 義 (80)		商業科 (40)		情報処理科 (40)
	関商工 (160)	総合ビジネス (160)			
可茂 (160)	東濃実業 (160)	ビジネス管理科 (80)			ビジネス情報科 (80)
東濃 (360)	土岐商業 (200)	ビジネス科 (160)			ビジネス情報科 (40)
	中津商業 (160)	ビジネス科 (120)			ビジネス情報科 (40)
飛騨 (160)	益田清風 (80)			ビジネス会計科 (40)	経営情報科 (40)
	飛騨高山 (80)		ビジネス科 (40)		情報処理科 (40)
計	(1920)	(1440)			(480)

生活産業科

生活自立の上に成り立つ職業人の育成とともに、常に、時代や社会の変化や産業界の動向を踏まえつつ、将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎的・基本的なことを身に付けさせ、地域社会や生活産業に貢献できる人材を育成する。

	主な学習分野	ファッション系分野 被服等	フード系分野 食物等	リビング系分野 住居等	ヒューマンサービス系分野 家族、保育、福祉、介護、看護、健康等
岐阜 (120)	岐阜城北 (80)	生活文化 (80)			(生活文化科)
	岐阜各務野 (40)				福祉 (40)
西濃 (320)	揖斐 (80)	生活環境 (80)			(生活環境科)
	大垣桜 (200)	服飾デザイン (40)	食物 (40)		福祉 (40)
	海津明誠 (40)	生活文化 (80)			
美濃 (40)	関有知 (40)	生活福祉 (40)			生活福祉 (40)
可茂 (80)	東濃実業 (80)	生活文化 (80)			(生活文化科)
東濃 (200)	瑞浪 (80)	生活福祉 (80)			
	坂下 (80)	生活文化 (40)			福祉 (40)
	阿木 (40)	総合生活 (40)			
飛騨 (40)	飛騨高山 (40)	生活文化 (40)			
計	(800)				(800)

情報科

情報通信網が飛躍的に普及し、各種 IT サービス企業が急成長を続けている現代社会において、情報を扱う上での基礎的・基本的内容を学習する機会を提供し、情報手段を駆使した実習等を通じて豊かな感性を育む。

岐阜 (40)	岐阜各務野 (40)	情報 (40)
西濃 (40)	大垣商業 (80)	情報 (80)
計	(120)	(120)

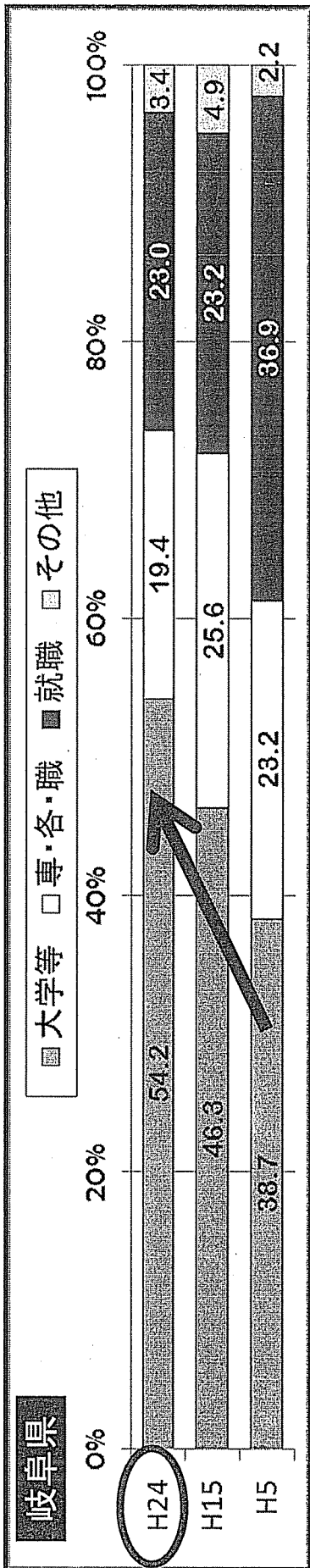
総合学科

普通科目と専門科目にわたる幅広い選択科目から自分で科目を選択し学ぶことができる学科として設置。多様な開設科目の中から、生徒自身が自己の興味・関心、将来の進路希望により勉強したい科目を選び履修する学校として、生徒の多様な能力や関心に応える。

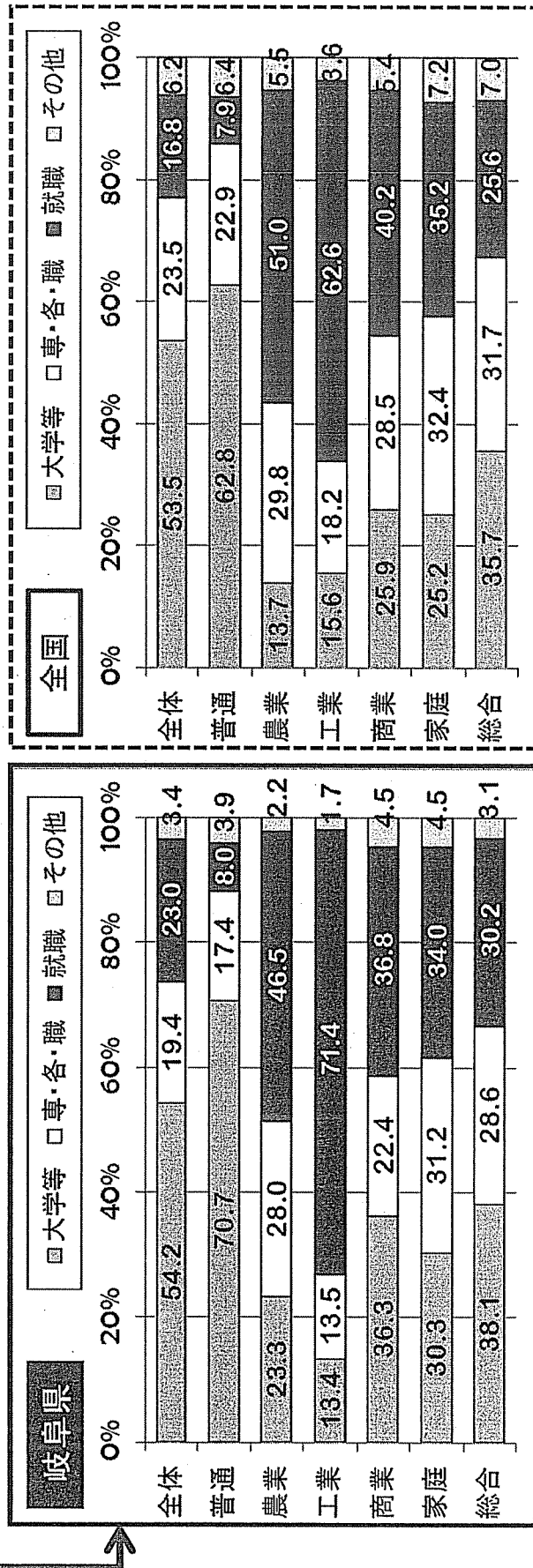
	主な学習分野	ビジネス系 ビジネス、会計、国際交流、サービス、観光等	農業系 農業、環境	工業系 工業技術、マイクロエレクトロニクス	生活産業系 生活、福祉、保育	情報系 情報システム	教養その他 自然科学、人文科学、芸術、文化、スポーツ
岐阜 (440)	岐阜総合 (280)	観光ビジネス		マイクロエレクトロニクス、環境テクノロジー	生活福祉	情報システム	自然科学、国際文化、スポーツ科学、芸術文化
	岐阜城北 (160)	ビジネス、会計				情報	人文科学、芸術文化
西濃 (120)	大垣養老 (120)	ビジネス、会計	大地の恵み		生活福祉	情報	
美濃 (80)	郡上 (80)				生活福祉	情報システム	国際文化
東濃 (240)	土岐紅陵 (120)	情報ビジネス			食と福祉	情報メディア	文理進学、美術工芸
	恵那南 (120)	ビジネス			福祉保育	情報	文系進学、理系進学
飛騨 (160)	益田清風 (80)	観光産業			健康福祉		言語・文化
	飛騨神岡 (80)	ビジネス会計		工業技術			文理
計	(960)						(960)

- 全体的は大学等へ進学が増加
- 農業科、商業科、家庭科からの大学等への進学が一定数、工業科は就職が多い

◆ 県内の高校卒業後の進路状況の推移<公立・私立 | 全日制・定時制> <学校基本調査より>



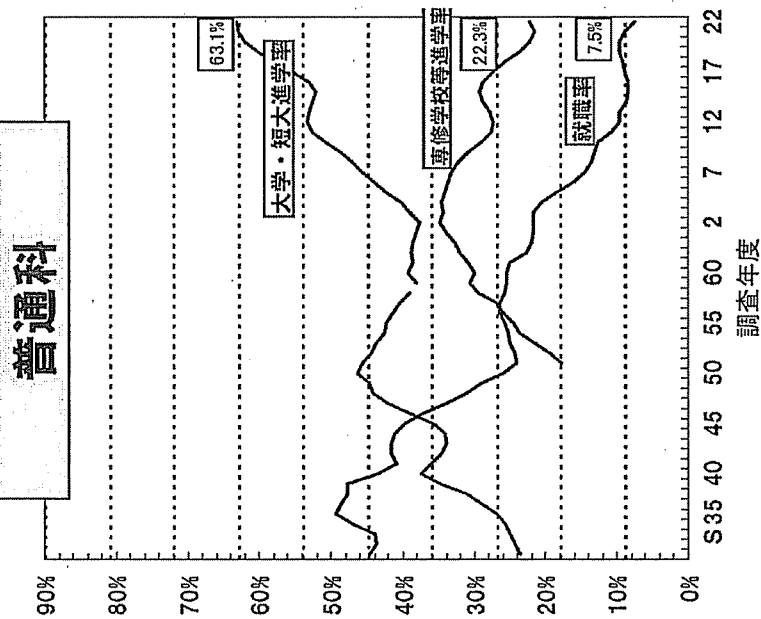
◆ 高校卒業後の学科別・進路別構成比<H24. 3卒業 | 公立・私立 | 全日制・定時制> <学校基本調査より>



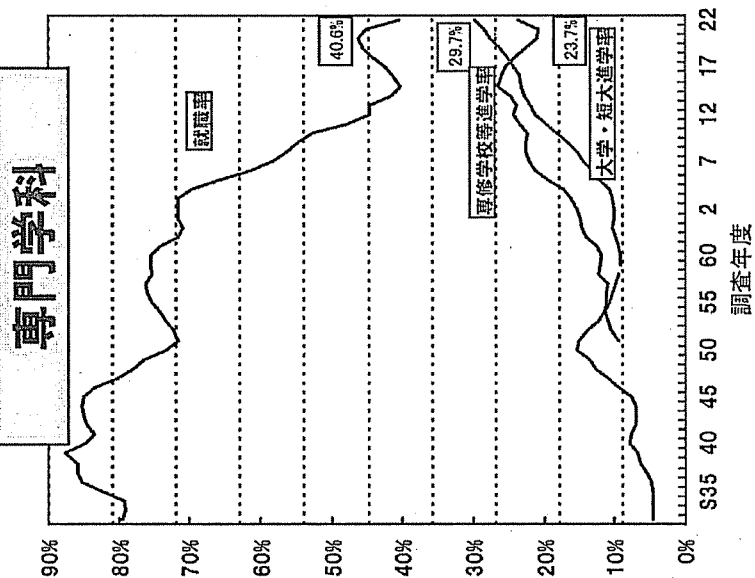
高等学校卒業者の進路の推移 (全国)

(普通科・専門学科・総合学科別)

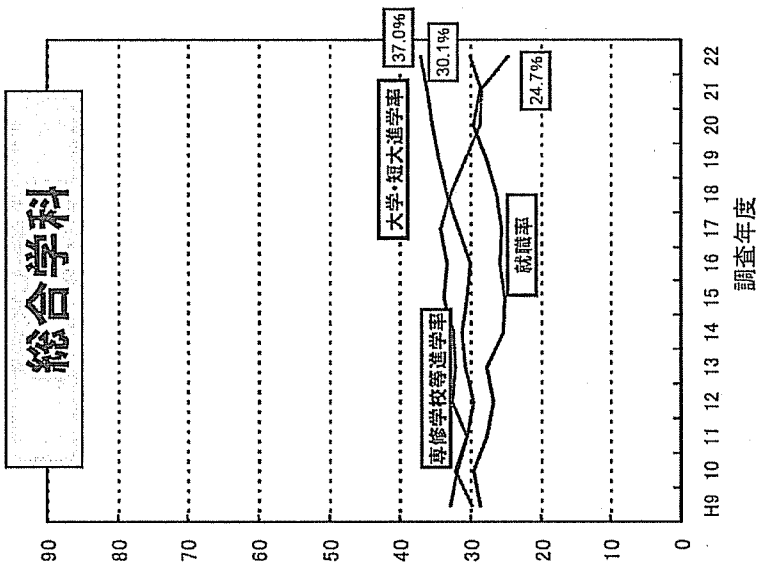
普通科、専門学科ともに大学・短大進学率が上昇している。
 専門学科卒業生の進路では、依然として就職する者が最も多い。



普通科	H23	H24
大学等	全国 62.9% 岐阜 73.1%	62.8% 70.7%
専修等	全国 22.5% 岐阜 16.2%	22.9% 17.4%
就職	全国 7.6% 岐阜 7.1%	7.8% 8.0%



専門学科	H23	H24
大学等	全国 28.5% 岐阜 33.3%	27.4% 30.6%
専修等	全国 23.4% 岐阜 20.6%	23.7% 21.3%
就職	全国 42.3% 岐阜 42.9%	43.6% 45.5%



総合学科	H23	H24
大学等	全国 36.2% 岐阜 39.1%	35.7% 38.1%
専修等	全国 31.1% 岐阜 28.8%	31.7% 28.6%
就職	全国 24.7% 岐阜 29.1%	25.4% 30.2%

※グラフは中央教育審議会・高等学校教育研究会第2回資料より抜粋、表中の数値は「学校基本調査」による

岐阜県を支える産業教育

〔岐阜県産業教育の目標〕

本県の地域産業「ものづくり産業」「サービス産業」の維持・発展に貢献する専門的な知識・技術をもった職業人を育成する。
 ○産業人の安定供給 ○調和のとれた豊かな人間性や社会性や社会性の育成 ○社会の変化に対応した職業人の育成



農業科



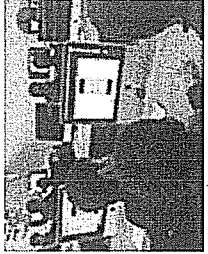
工業科



商業科



生活産業科



情報科

〈産業教育重点施策〉

- ・地域連携型事業の充実
- ・入・アウト育成に必要な意欲的な学習の推進
- ・専門高校と中学校・大学との連携の充実
- ・教員研修の充実
- ・社会のニーズや多様な進路に対応する専門高校の在り方の検討

現行の
岐阜県教育ビジョンより

〈インターシッピング実施状況〉

- ・専門高校 4,772人/5,365人 (88.9%)
 - ・総合学科 838人/1,008人 (83.1%)
 - ・普通科 1,893人/7,755人 (24.4%)
- 【参考】
 (H25.3月末岐阜県高等学校インターシッピング実施状況調査より)

高校3年間で体験した生徒の割合

〈本県産業教育の実態〉

- 本県産業教育に学ぶ生徒数(専門学科在籍数)は、全高校生徒数の33.8% (全国平均19.1%、全国6位)
- 平成25年3月末の就職状況
 2,661人中、2,041人が県内就職 (76.7%)
(H25.3月末高等学校卒業予定者の就職状況調査より)
- 本県は産業教育に大変力を入れており、資格取得や該当教科の各種コンクール等で、高い成果をあげている。

(H24.5.1学校基本調査より)

〈産業教育に関わる課題〉

- ▼ソフト・ハード両面での産業・技術の高度化への対応 (教員の知識・技能向上、老朽化する施設・設備の充実)
- ▼中学校における進路指導 (入口)
- ▼大学等への進学を目指す生徒への指導の充実 (出口)

〈教育課程の特徴〉

○1年次から専門科目を多く履修し、専門性の向上を図る

専門高校(工業科)(例)

1年	普通科目(18単位)	専門科目(11単位)	HR
2年	普通科目(16単位)	専門科目(13単位)	HR
3年	普通科目(9~13単位)	専門科目(16~20単位)	HR
	普通科目(43~47単位)	専門科目(40~44単位)	

【参考】

総合学科(環境テクノロジシリーズ)(例)

1年	普通科目(29単位)	HR	総学
2年	普通科目(13~17単位)	専門科目(12~16単位)	HR
3年	普通科目(13~17単位)	専門科目(12~16単位)	HR
	普通科目(55~63単位)	専門科目(24~32単位)	

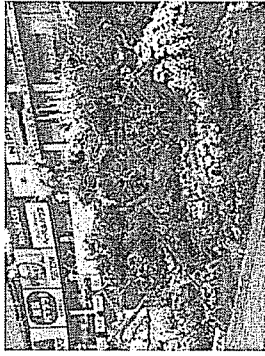
普通科(ビジネスコース)(例)

1年	普通科目(23単位)	専門科目(6単位)	HR	総学
2年	普通科目(20単位)	専門科目(9単位)	HR	総学
3年	普通科目(20単位)	専門科目(9単位)	HR	総学
	普通科目(63単位)	専門科目(24単位)		

産業教育日本一を目指した取組

【農業】 恵那農業高校

- ・世界らん展日本大賞2013ディスプレイ審査部門 優秀賞
- ・世界らん展は、毎年約20か国・地域から3000種10万株の蘭が出演される世界規模のイベント



【工業】 大垣工業高校

- ・第7回若年者ものづくりコンテスト 全国大会優勝
- ・企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象に、「若年者ものづくり競技大会」を開催し、若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図る大会



【商業】

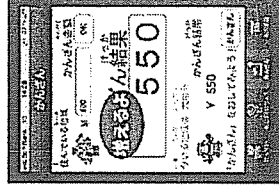
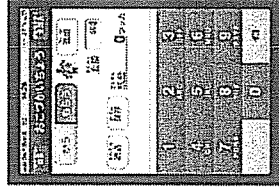
・高度資格取得の実績

試験名と科目	平成23年度合格者	全国順位
経済産業省		
応用情報技術者	11人	1位
基本情報技術者	70人	2位
ITパスポート	126人	4位
1級	35人	1位
2級	708人	2位
2級	35人	3位
3級	100人	2位
国税庁 税理士科目	15人	1位
2級	34人	3位
準2級	186人	1位

【情報科】 大垣商業高校

- ・iPhoneアプリ「とびだせ！あゆっこ 簡単小遣い帳」がAppStoreにリリース。

地元の小学生が職場体験をした後「給料」として地域通貨受け取り、その受け取ったお金の管理を簡単にできるアプリ。普通の小遣い帳としても利用可能。



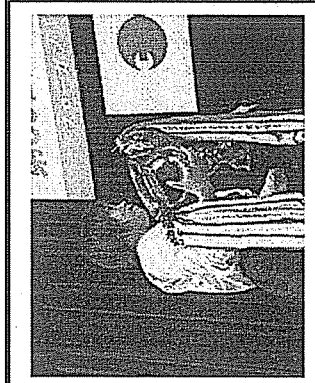
入金処理の画面

換算処理の画面

【生活産業】 岐阜城北高校

- ・全国高等学校家庭クラブ研究発表大会ホームページプロジェクトの部 文部科学大臣賞

冷えを感じている祖母が、暖房に頼らなくても暖かく快適に過ごせるように、環境にやさしい方法で、服の着方や住まい方を工夫する過程、及び冷えの改善後に家族で協力して「エコ生活」に取り組む過程をまとめた。



県立高等学校におけるキャリア教育

学校支援課

○めざす「ぎふの人間像」

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、
家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、
地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」
(「岐阜県教育ビジョン」より)

○ねらい

- ☆望ましい勤労観・職業観の形成と確立
- ☆自己の能力・適性や多様な可能性の理解
- ☆将来の夢や希望の実現に向け、主体的に進路選択できる能力や態度の育成
- ☆確かな学力や専門的な知識、技能の定着

○喫緊の課題

→ ▼「学校から社会・職業への移行」が円滑に行われていない。▼特に、就職希望者や選抜性の低い高等教育機関への進学者など、多様な進路希望者を抱える普通科高校におけるキャリア教育が課題である。
 ・ どのように将来に向けた目的意識をもたせ、学習への動機づけを高めるか
 ・ 職業に従事するための知識・技能をどのように育成するか
 ・ キャリア教育、特に実践的職業教育に関する支援体制をどのように構築するか

学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的にキャリア教育を推進する

確かな学力

学力向上総合推進事業 (継続)
 ・ 第二期ステップアップカリキュラム
 教員の意識改革などを通じた授業改善と、学校組織全体による教育力向上のシステムを構築する。
 ・ 授業改善サポート事業
 新学習指導要領の趣旨を具現化し、教科ごとに先進的な授業実践に取り組み、成果の普及を図る。

実践的職業教育

飛び出せスーパー専門高校生推進事業 (継続)
 専門高校等で、専門教科を生かした学習活動を行い、職業人としての高度な資質・能力を育成する。

外部リソース活用研究事業 (新規)
 (キャリア教育・就職指導総合支援事業費)
 普通科高校等で、職業科目の導入や地元企業と連携したデュアルシステムによる単位認定、高等教育機関との連携など、教育課程における研究を実施する。

キャリア教育支援

キャリア教育アドバイザー配置事業 (新規)
 (キャリア教育・就職指導総合支援事業費)
 キャリア教育アドバイザーを普通科高校を中心に配置し、学校におけるキャリア教育、就職指導の体制づくりを中心に支援する。
 ・ キャリア教育に関する教職員へのノウハウ提供
 ・ 就職情報の収集及び生徒、保護者等への情報提供
 ・ 外部機関とのコーディネート等

高校生インターンシップ推進事業 (継続)
 生徒の活動中の事故に備え賠償責任保険を予算化し、在学中に一度はインターンシップを安心して体験できるよう体制を整備する。

キャリア教育年間指導計画の作成及び提出 (新規)

各学校のキャリア教育の基本的な在り方を内外に示すとともに、学校の特色や教育目標に基づいて教育課程に明確に位置付け、キャリア教育の体系的な推進を図る。

飛び出せスーパー専門高校生推進事業

5,000千円

目標

専門高校の役割

専門高校への期待

H20・21の取組

H22・23の取組

H24～H25の取組

H26・H27の取組

地域に根ざした継続的実践活動の展開

本県の次代を担う産業人の育成

① 将来のスペシャリストの育成

② 将来の地域産業を担う人材の育成

③ 人間性豊かな職業人の育成

【背景】

- ◇ 産業社会の変化
- ◇ 就業構造の変化
- ◇ 少子・高齢化
- ◇ ものづくり離れ
- ◇ 生活感の希薄化
- ◇ 環境問題 等

【専門高校への期待】

- ◆ 実践力、課題解決力等の育成
- ◆ 地域や地域産業の人的基盤
- ◆ 生命・自然・ものを大切にすることを規範意識

H20・21の取組

岐阜及び東濃地区

H22・23の取組

西濃及び中濃・飛騨地区

【実施校】岐阜・東濃地区の専門高校8校

岐阜地区	活動テーマ	東濃地区	活動テーマ
岐阜工業	地域産業の将来のリーダーの育成を目指して	恵那農業	蘇れ！恵那の自然～ハイオ技術を活用した環境保護活動～
県立岐阜商業	中小企業の魅力を発信	多治見工業	The Artistic Technology Revolution 芸術的工業技術革新～地域産業・地域活性化をふまえた特色ある工業教育研究開発～
岐阜総合学園	総合学科における地域貢献活動を取り入れた職業教育	中津商業	地域の宝を探せ！～@中津川再発見.com～
岐阜城北	地域に発信 安心エコライフ	瑞浪	地域とつながろう

【地域の連携先】(36件)

地元企業、商工会議所、観光協会、農協、地元商店街、保育所、幼稚園、小中学校、専門学校、大学、職業訓練校、市町村、道の駅、サービスエリア、地元NPO法人 等

[H24成果]

- 実践活動を通して生徒のコミュニケーション能力、実践力等の向上
- 地域や産業界、大学等との人的ネットワークを構築
- 中間合同発表会で各校の取組を地域に情報発信、外部評価

- ◆ マスコミ等で多数報道(新聞 19件)
- ◆ 実践活動への高い評価、専門高校の地域課題解決への取組に期待

H24

- ☞ 地域連携を更に深め、人的ネットワークを強化し、事業内容を充実。
- ☞ 2年間 (H24・25) の事業の成果と課題を検証

新たな学校・学科で実践活動の展開

西濃及び中濃・飛騨地区の専門高校8校で事業を実施

☞ 地域との連携・交流をさらに図り、地域と連携した実践教育の手法やノウハウを蓄積
☞ 研究成果や研究手法を他の専門高校へ普及

ステップアップカリキュラム研究開発推進事業 (H22～H24)

義務教育段階での学習内容の確実な定着を図り、高等学校の学習内容に円滑に接続するための教育課程及び指導方法についての実践研究

羽島高校

- カリキュラム開発
- ・学校設定科目「ステップアップ学び」(国・英2単位)
数学の教科内での指導
- ・初年度にカリキュラム委員会「毎日15分×5日(1単位)」
や「週3時間50分(3単位)」などを検討。
- 学校独自教材の開発
「ステップアップ学び」国・数・英

土岐紅陵高校

- カリキュラム開発
- ・学校設定科目「数学入門」(1年次前期 1単位)
「英語入門」(1年次通年 2単位)
- ・2年次、3年次の数学等の単位数の増加
- ・ベネッセの教材を週4日、放課後10分間で実施。正副担任で指導
- 学校独自教材の開発
「数学入門」、「英語入門」、「Yes, we can! (英単語・英語表現集)」

○多角的な方法による生徒の実態把握及び目標値の設定
それぞれの学校の指標を、学力だけではなく、出欠統計や進路結果等との相関で検討、多角的に生徒の実態把握の実施

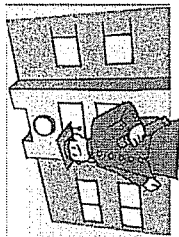
成果と課題

- 成果
 - ・基礎学力の定着
 - 学習に対して前向きに落ち着いて取り組み姿勢が見られ、欠席数や遅刻・早退度数は減少した。
 - ・学習意欲の向上
 - ・生徒にとって居場所としての学校の存在
- 課題
 - ・学力の定着：学力の持続的な定着が図られない場合がある。
 - ・学習の接続：義務教育段階での学習と高等学校段階での学習との接続がうまく行かない面がある。
 - キヤリア教育の観点を取り入れた3年間を通じた指導計画の必要性
 - 中学校との情報交流(連携)の必要性

第二期ステップアップカリキュラム研究開発推進事業へ

(H25～H27) 4校(山県高校、恵那南高校、飛騨神岡高校、東濃フロンティア高校) 指定

岐阜県の「中高一貫教育推進事業」について



<事業経緯等>

OH14.4 「生徒いきいきプラン」で中高一貫教育校の設置提言

OH16.4 連携型中高一貫教育校を西濃地区（揖斐川町）・可茂地区（八百津町）に設置

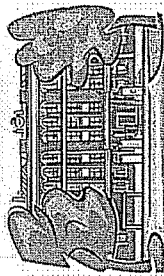
OH20.12 「岐阜県における中高一貫教育の基本方針」策定

*中・高6年間の「連続性」を強め、一貫した教育活動によって「なめらかな接続」による「きめ細やかな指導」が可能

*地域社会の一員として、安心・安全で活力のある地域づくりに貢献する人材の育成に役立つ可能性

連携型中高一貫教育校を、少子化・過疎化の進む中山間地等において地域の実情に応じて新たに整備を進めること

OH22.4 美濃地区（郡上市） H23.4 飛騨地区（神岡町）に新たに設置



<中学校>

【西濃地区】

- 揖斐川町立揖斐川中学校
- 揖斐川町立北和中学校

【可茂地区】

- 八百津町立八百津中学校
- 八百津町立八百津東部中学校

【美濃地区】

- 郡上市立白鳥中学校

【飛騨地区】

- 飛騨市立神岡中学校
- 飛騨市立山之村中学校

<各地区推進組織>

コーディネーター会議
連絡協議会 評価委員会等

【主な取組内容（例）】

【確かな学力の育成】

- 中高双方方向の交流授業・出前授業・教員の合同研修会
- 基礎学力向上のための共通教材の作成・活用

【豊かな心の育成】

- 中高連携行事の実施（学校行事への相互参加、生徒会活動の合同活動、部活動の合同練習等）
- 「高校体験学習」の実施

【地域に貢献する態度の育成 情報発信】

- 地域の祭礼や行事等への積極的な参加
- オープンスクール等による保護者・地域対象の「中高一貫教育」「キャリア教育」説明会の実施

<指導・援助 連絡調整 事務局>

岐阜県教育委員会
各市町教育委員会

<高等学校>

【西濃地区】

- 岐阜県立揖斐高等学校
(普通科 80名 生活環境 80名)

【可茂地区】

- 岐阜県立八百津高等学校
(普通科 120名)

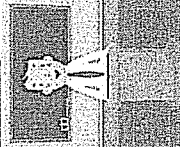
【美濃地区】

- 岐阜県立郡上北高等学校
(普通科 120名)

【飛騨地区】

- 岐阜県立飛騨神岡高等学校
(総合学科 80名)

連携型選抜入試



岐阜県の連携型中高一貫教育校 (H25.4月現在)

美濃地区

- ・岐阜県立郡上北中学校
- ・郡上市立白鳥中学校

西濃地区

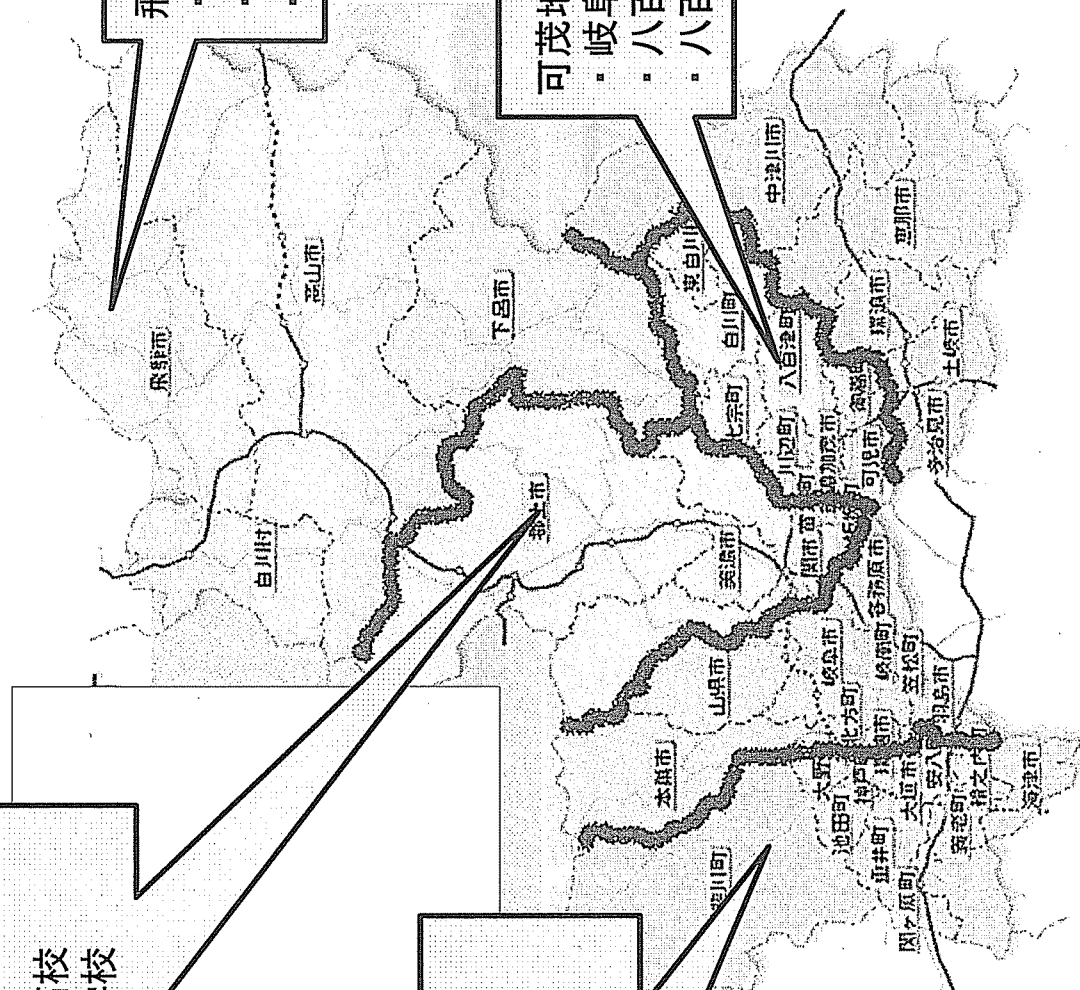
- ・岐阜県立揖斐高校
- ・揖斐川町立揖斐川中学校
- ・揖斐川町立北和中学校

飛騨地区

- ・岐阜県立飛騨神岡高校
- ・飛騨市立神岡中学校
- ・飛騨市立山之村中学校

可茂地区

- ・岐阜県立八百津高校
- ・八百津町立八百津中学校
- ・八百津町立東部中学校



静岡県立科学技術高等学校

経緯

- ・平成20年清水工業高等学校と静岡工業高等学校を再編整備（平成17年県立高校第二次長期計画）。別の場所に移転新設。
- ・工業科と理数科の併設により、優れた技能、技術者を育成。

教育活動の特徴

○科学技術各類の特徴

- I類：機械工学科・電気工学科（各40名）
- II類：ロボット工学科・電子工学科・情報システム科（120名くくり募集）
- III類：建築デザイン科・都市基盤工学科・物質工学科（各40名）
 - ・科学発表会やものづくり協議会へ積極的に参加。補習授業90時間/年
- IV類：理数科（40名）
 - ・先端研究施設の視察などを行う「ニュートン・プロジェクト推進事業」指定（県教育委員会指定事業）
 - ・科学技術の未来を探究する能力の育成
 - 1年次：科学技術基礎（週2時間工業科8科の実習）2年次：課題研究3時間
 - 3年次：科学技術応用2時間（工業科4科の実習と理数の探求活動）
 - ・補習授業180時間/年

○その他

全類が毎日7時間授業・教養力テストの実施・部活動7時半まで

2 大阪府立布施北高等学校

経緯

- 平成16～18年度 文部科学省「日本版*デュアルシステム」研究指定
- 平成18年度 全国初 普通科に「デュアルシステム専門コース」設置
- 平成25年度 普通科のうち、2クラスをデュアル総合学科に改編

*デュアルシステム：デュアルは「2」の意味で、デュアルシステムとはドイツを発祥とする「教育」と「職業訓練」を同時に行うシステム。学校外の企業等での実習を学校の単位として認める。

教育活動の特徴

○「ほんまもん」に触れる実習・演習などでキャリアデザイン形成を支援

- 1年生では、職場見学やインターンシップを通じて、自分の能力や適性をみつける。
- 2、3年生では、デュアル実習により、週に1日職場体験実習（5月～7月,10月～12月）
- 「社会を支える若者を地域で育てる」⇒デュアルシステム協力企業所約100社
- デュアル演習などの授業で、実習の振り返りや次回の目標設定等を行う。

○確かな学力の育成

- 習熟度別授業の実施や、学校設定科目「キャリア基礎」などで、「読み」「書き」「計算」など社会で必要な学力を定着させるとともに、協調性やコミュニケーション能力を育む。

※キャリア基礎：基礎学力とビジネスマナーの定着に主眼を置いた授業

○徹底した生活指導

- 生徒が「ルール」や「マナー」を守る心を育て、基本的な生活習慣を確立し、就職・進学の希望進路を実現。

3 大阪府教育センター附属高等学校

経 緯

- 平成23年4月開校の単位制の全日制普通科高校
- 教育センターに隣接していた大和川高校を廃止し、教育センター附属高校設置
- 教育センターの資源（スタッフ・施設設備・情報など）を活用した質の高い授業を實踐

教 育 活 動 の 特 徴

- 大阪の教育発展のモデルとして、進むべき方向を示す学校
 - 大阪の次代を担う人材を育成するため、学力をはじめとした様々な教育課題の解決のモデルとなる「ナビゲーションスクール」。
 - 教育センターが開発した教材ソフトや、iPadや電子黒板などの最先端のICT（情報通信技術）機器を用いた授業を實踐。
 - 大阪府内の教員の授業力向上のため、積極的に授業を公開。附属高校では、センターの指導主事が教科会に参加し、直接授業改善を指導。
- 学校設定教科「探究ナビ」を開設し、キャリア教育を實施
 - 文科省から教育課程特例校の指定を受け、活用・探究型の授業「探究ナビ」や、発展的な内容を扱う教科横断型選択科目「ヒューマンライサイエンス」「グローバルデザイン」を開講。
 - 「探究ナビ」：人文、社会、自然等の各分野を融合した単元で構成し、知識・技能を活用する力、課題を探究する力、協同的に取り組む態度等を育成し、進路の実現を図る。
 - 指導主事が「探究ナビ」の授業の企画・運営に加わる。今年度は、住吉区福祉協議会やNHKと連携して防災マップ作製の予定。

4 島根県立隠岐島前高等学校

経緯

- ・ 隠岐郡島前海士町の離島（中ノ島）にある全日制普通科の高校。平成24年度に定員40名から80名に。2年次に特別進学コースと地域創造コースに分かれる。
- ・ 「島前高校魅力化の会」（高校、町村長、町村議長、中学校長、同窓会長）による「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」（H20年～）に取り組み、入学者が28名（H20年）から59名（H24）へ増加。入学者の3割が東京や大阪など島外からの生徒。

施策の特徴

- 海士町が公営塾「隠岐國学習センター」を設立
 - ・ 「島にいと、学力が伸びずに大学進学に不利」という常識を打破するため、町公営塾が進路の方向性や指導方針等を高校とすり合わせながら連携して指導に当たる。
 - 島留学支援制度
 - ・ 島の子どもたちや地域により刺激をもたらししてくれる多彩な意欲・能力ある生徒を全国から募集し、寮費・食費の半額（毎月2万円）、里帰り交通費の半額等を補助。
 - 地域に根ざしたキャリア教育 ～地域のつなぎ手の育成～
 - ・ 地域内外のエキスパートの協力を得ながら、生徒それぞれの興味に応じてプロジェクトチームを組み、実際にまちづくりや商品開発などの地域の課題解決に取り組む。
- ※「キャリア教育推進連携表彰」（文部科学省・経済産業省）を受賞（平成24年）
- 平成23年度から3年間、県の「離島・中山間地の高校魅力化・活性化事業」の指定

後期中等教育におけるキャリア教育・職業教育

1. 課題と基本的な考え方

(1) 課題

高等学校 普通科

進路意識・目的意識が希薄
他学科に比べ厳しい就職状況

高等学校 専門学科

約半数が進学する高等教育との接続を視野に入れた
職業教育の充実
専門的な知識・技能の高度化や職業の多様化

高等学校 総合学科

生徒の安易な科目選択、教職員の負担
教職員や中学生・保護者の理解が不十分

特別支援学校 高等部

厳しい就職状況（卒業者のうち就職割合は2割強）

専修学校 高等課程

生徒の実態を踏まえた多様な学習ニーズへの対応

(2) 基本的な考え方

卒業時の主な年齢である18歳は、社会人・職業人
としての自立が迫られる時期

生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要となる
力・態度を育成、勤労観・職業観等を自ら形成・確立

2. 各後期中等教育機関における推進の主なポイント

高等学校（特に普通科）におけるキャリア教育

- ・ キャリア教育の中核となる教科等の明確化の検討
- ・ 就業体験活動の効果的な活用
- ・ 普通科における職業科目の履修機会の確保
- ・ 進路指導の実践の改善・充実

高等学校 専門学科における職業教育

- ・ 基本的・基本的な知識・技能の定着と問題解決能力等の育成
- ・ 長期実習等、実践的な教育活動の実施、実務経験者の登用
- ・ 地域や産業界との密接な連携による学科整備・教育課程編成
- ・ 専攻科の在り方と高等教育機関との接続
(具体的基準等の明確化、高等教育機関への編入学等の検討)

高等学校 総合学科

- ・ 目的意識等を持たせる教育活動の充実
- ・ 中学生・保護者や教職員の理解促進
- ・ 多様な学習機会を保障するための教員配置等条件整備

特別支援学校 高等部

- ・ 就業につながる職業教育に関する教育課程の見直し
- ・ 就業に向けた支援方法の開発、職場体験活動の機会拡大
- ・ 専攻科の在り方と高等教育機関との接続

専修学校 高等課程

- ・ 幅のある知識・技能や基礎的・汎用的能力の育成
- ・ 「単位制学科」や「通信制学科」の制度化の検討